資料４

令和５年度厚生文教常任委員会の抽出事業
～学習・生活の場である学校教育環境整備～

１　教育環境の現状と今後

新型コロナウイルス感染は、教育活動にも大きな影響を余儀なくされた。まだまだ収束には至っていないが、新型コロナの５類移行に伴い社会生活の行動も緩和され、教育活動も日常に戻りつつある。そのような中、ICT を活用した学習環境の整備、地域全体で子どもを育むコミュニテイ・スクールのとりくみも進んでいる。その成果および課題について日常的な現状把握も必要である。

また、令和５年度教育行政執行方針に示された義務教育９年間を見通した「めむろ未来学」等の推進による、小中一貫教育の基本方針策定に注視していきたい。

少子化が進む中、次世代を担う子どもたちを学校現場そして地域全体でいかに育てていくかは喫緊の課題である。子どもと先生方が向き合える時間の確保、そのためにも「芽室町立学校における働き方改革推進プラン」の実効性のあるとりくみが望まれる。国から、「休日の部活動の地域移行」が提起されている。地域移行における町の課題等について調査研究を進める。

２　令和５年６月１日開催の厚生文教常任委員会 MTG（抽出事業について）

（１）令和４年度の厚生文教常任委員会の総括から、調査継続の必要性がある。

〇次期芽室町立小中学校配置計画（令和９年～１６年度予定）の課題の検討

〇小中一貫教育の調査研究の継続

（２）休日の部活動の地域移行の課題と「働き方改革」としての課題。

（３）少子化により教育の場において様々な課題が想定される。中長期的な教育についての調査研究は必至。

教育を取り巻く諸課題について、所管課はもとより教育関係者等の意見聴取の機会を設け、「芽室の教育」について厚生文教常任委員会として調査研究を進める。

３　取り組み

（１）今、何が課題なのか（現状の把握）

（２）地域と学校（教育関係者等との意見交換）

（３）教育を取り巻く諸課題の研究（先進事例等）

Ｒ５芽室町議会実行計画書

（１）政策課題

（ⅰ）総務経済常任委員会

①●●●●●●●●

●●
●●
●●
●●

（ⅱ）厚生文教常任委員会

①学校配置計画を含めた将来的な教育環境の整備

・少子化などにより部活動や校区など教育環境に様々な課題が生じてくることが予測される。令和８年度までを計画期間とする芽室町立小中学校配置計画について意見聴取等、適宜調査を行い課題の整理、課題解決に向けて調査研究を行う。

進捗工程表

達成時期：Ｒ６年　月

所管委員会：厚生文教常任委員会

施策（事業）名：学校配置計画を含めた将来的な教育環境の整備

【現状】

〇町内の年間出生数が減少している

〇

〇

【目指す姿(目標)】

●子どもたちの多様な学びが保障される

●地域全体で子どもを育む体制の整備

【課題・政策】

- 年間出生数の減少により、中長期的な視点では校区なども課題となってくる
- 新たな教育システムの構築に向けて、全体ビジョンを定めていく必要がある
- 児童・生徒数減少などの物理的課題の解決のみ焦点を当てた改革や配置計画の見直しにならないよう議論を進めることが必要である

［取組内容］

① 現状の課題把握のための調査

② 意見聴取・交換の場を持つ（教育関係者等）

③ 先進事例等の調査研究

④ 学習環境の整備のための調査研究

［工程詳細］

項　目	Ｒ５年度		Ｒ６年度		Ｒ７年度		Ｒ８年度		備考
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
実態把握・調査	→								
意見聴取・交換の場の設定	→	→							
先進事例等の調査研究		→							
学習環境整備の調査研究	→	→	→	→	→	→	→	→	

［Ｒ５年度評価］⇒

進捗状況										
達成評価	Ａ目標達成	Ｂ概ね達成	Ｃ未達成	Ｄ未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

［Ｒ６年度評価］⇒

進捗状況										
達成評価	Ａ目標達成	Ｂ概ね達成	Ｃ未達成	Ｄ未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

［Ｒ７年度評価］⇒

進捗状況										
達成評価	Ａ目標達成	Ｂ概ね達成	Ｃ未達成	Ｄ未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

［Ｒ８年度評価］⇒

進捗状況										
達成評価	Ａ目標達成	Ｂ概ね達成	Ｃ未達成	Ｄ未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										